

1. コーヒー飲料でスチール缶の想起・飲用経験が減少、ペットボトル入りのコーヒー飲料が台頭

- 飲料名を聞いたときに想像する容器（想起）、1年以内で飲んだ飲料の容器（飲用経験）について、いずれも前回は「スチール缶」の回答が最も高い回答割合を占めていた。
- 前回と今回の回答結果を比較すると、スチール缶の回答割合が低下している。想起は15.9ポイント、飲用経験は16.3ポイント低下した。それに対して、ペットボトルは、想起で14.9ポイント、飲用経験で12.5ポイント上昇している。
- コーヒー飲料の容器として、ペットボトルの想起・飲用が台頭してきていると推察できる。

飲料名を聞いたときに想像する容器

			(%)									
			ペットボトル	スチール缶	アルミ缶	紙パック	ガラスびん	紙コップ	プラスチックカップ	紙またはプラスチックカップ	マイボトル	その他の容器
n=												
コーヒー飲料	第1回 (2013)	3,000	8.6	54.9					21.4		8.1	
	第2回 (2019)	3,000	23.5	39.0					21.2		4.8	

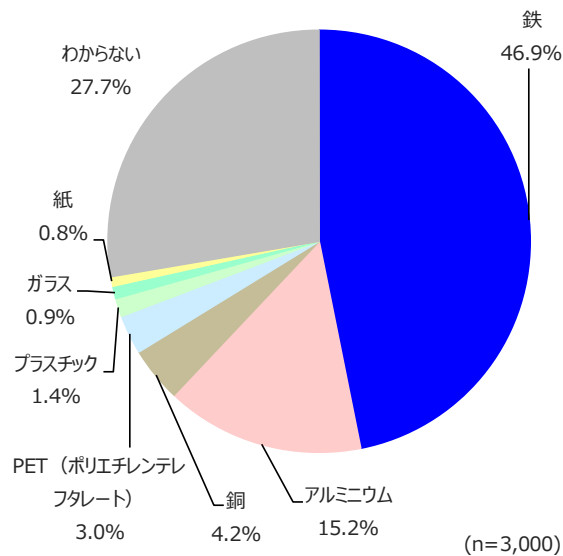
1年以内に飲んだ飲料の容器

			(%)												
			ペットボトル	スチール缶	アルミ缶	紙パック	ガラスびん	紙コップ	プラスチックカップ	紙またはプラスチックカップ	マイボトル	その他の容器	この飲料は飲んでいない		
n=															
コーヒー飲料	第1回 (2013)	3,000	22.7	44.2					19.1	0.3	17.0	1.4	15.7	0.6	25.0
	第2回 (2019)	3,000	35.2	27.9					18.5	9.8	1.3	8.8	8.4	5.6	0.7

2. スチール缶の主な素材として、過半数が「鉄」以外を回答

- 今回の調査では、スチール缶の主な素材を鉄と回答したのは46.9%となった。「わからない」も含めると、過半数である53.1%は、正しい回答ではなかった。
- 性年代別では、男性50代～60代以上は「全体」と比較して正しい回答をしている傾向にあるといえる。一方、女性10代～30代は正しい回答を選択しなかったといえる。

スチール缶の主な素材だと思うもの（2019年）



素材について「鉄」と回答したデータを抜粋（2019年）

全体		3,000	46.9	[%]
性年代別	男性10代	250	38.4	
	男性20代	250	40.8	
	男性30代	250	49.6	
	男性40代	250	60.8	
	男性50代	250	72.0	
	男性60代以上	250	82.4	
	女性10代	250	27.6	
	女性20代	250	25.6	
	女性30代	250	28.8	
	女性40代	250	36.4	
環境意識別	女性50代	250	44.8	
	女性60代以上	250	55.6	
	ボランティア・NPO参加層	132	43.9	
	環境問題実行層	783	59.9	
	環境問題意識層	1,108	50.3	
	環境問題意識なし層	977	33.1	

3. スチール缶は「安心感」「信頼感」のイメージで健闘

- 各容器について「安心感がある」「信頼感がある」「環境に配慮している」を選んだ人にそれぞれの順位を聴取した。
- スチール缶は「安心感」「信頼感」で1位には上がりにくいものの、2位・3位で健闘した。ペットボトル・アルミ缶が上回る結果となった。
- 対して「環境に配慮している」は3位で10%を超えるなど、上位には選ばれにくかった。マイボトル、紙パック・紙コップが上位に選ばれた。

